

科 目 名	日本事情Ⅱ Japanese CultureⅡ			担当教員	小島 隆史		
学 年	4 年	学 期	通 年	履修条件	必修	単位数	2
分 野	一般	授業形式	講義と演習	科目番号	16120044	単位区分	履修単位
学習目標	1. 専門科目の学習を通して工学系の専門用語の用法を身につけ、日本語の理解を深める。 2. 日本の文化や常識を理解し、異文化に対する適応能力を身につける。						
進 め 方	専門科目の演習問題や課題レポートを題材に、日本語による思考、討論、記述をすることで、専門用語を含んだ日本語の使い方を習得する。また、日本の文化や常識を知った上で日本社会の中にある日本的な問題を深く考えて討論し、自国の文化との相違点を理解することにより異文化に溶け込む力を身につける。						
学習内容	学習項目（時間数）			学習到達目標			
	1. ガイダンス(1) 2. 専門科目の演習とレポートの作成 1 (14) (1) 専門科目の学習と質疑 (2) 課題レポートの作成 (課題レポート 1)			・ 専門科目で用いる専門用語を含んだ日本語の使い方を身につける。 学習・教育目標との関連 (D-1)			
	3. 日本文化の理解 1(15) (1) 日本の文化や常識の理解 (2) 関心のあるトピックの調査・検討と討論 (課題レポート 2)			・ 日本の一般的な文化や常識を知る。 ・ 関心のある日本的な問題を深く考え、自国の文化との相違点を理解できる。 学習・教育目標との関連 (D-1)			
	4. 専門科目の演習とレポートの作成 2 (15) (1) 専門科目の学習と質疑 (2) 課題レポートの作成 (課題レポート 3)			・ 専門科目で用いる専門用語を含んだ日本語の使い方を身につける。 学習・教育目標との関連 (D-1)			
	5. 日本文化の理解 2 (15) (1) 日本の文化や常識の理解 (2) 関心のあるトピックの調査・検討と討論			・ 日本の一般的な文化や常識を知る。 ・ 関心のある日本的な問題を深く考え、自国の文化との相違点を理解できる。 学習・教育目標との関連 (D-1)			
	(課題レポート 4)						
	評価方法	・ 課題レポートにより評価する。 ・ 評価の重みは、それぞれの学習項目に対して等分とする。					
履修要件	特になし。						
関連科目	日本語Ⅰ（3年）、日本語Ⅱ（3年）、日本事情Ⅰ（3年） → 日本事情Ⅲ（5年） 日本語Ⅲ（4年）、 <u>日本事情Ⅱ</u> （4年）						
教 材	専門科目の演習問題や課題レポート 日本文化の理解に必要な教材を教員から適宜提供する。						
備 考	受講対象者：留学生 学習内容の順番は学習状況により適宜変更する。						